

高松商工会議所 行動計画  
(令和2年度～令和6年度)



今も昔もこれからも

高松商工会議所

## 今も昔もこれからも

本計画は、令和2年2月に創立140周年を迎え本会議所が、  
地域に必要とされ続けるために、  
「これから」をつくっていく計画である。

今、地域経済を取り巻く環境は目まぐるしく変化している。  
本会議所は、この変化に対応し、  
地域経済と中小企業の維持・発展に資するべく、  
5年後に実現すべきビジョンと5年間の活動指針を  
「行動計画」として定める。

令和2年4月1日  
高松商工会議所  
会頭 泉 雅文

## 5年後の姿

5年後の高松の商工業者のために  
企業の、前例に捕らわれない経営を  
企業の、エリアに捕らわれない経営を  
本会議所が、応援し、支え、そして叶える

### 地域の現状と課題

昨今、中小企業は、内外の環境変化に対応を迫られている。

少子高齢化が進み、働き手が減少傾向にある中、都市部への人口流出も続いている。人手不足は喫緊の問題となり、中小企業の多くが、その存続を危ぶまれているとって過言でない。

また、グローバル化が進み、遠く離れた地で発生した小さなインシデントでさえ、地方経済に大きなアクシデントが生じるリスクをもたらすようになった。

例えば、豪雨・巨大地震などの自然災害、新型コロナウイルスなどの感染症が、まったく予期しないタイミングで発生し、経済に大きな影を落としたことは記憶に新しい。

### 潜在的な商機も

グローバル化がもたらしたものは、リスクだけではない。

商圈は広がり、域外からの消費を取り込むチャンスを運んできた。

距離の概念が大きく変わり、ヒト・モノ・カネが集まる機会が身近になった。

インバウンド市場は高まりを見せ、今後開催が決まっている「2025年大阪・関西万博」などの世界規模のイベントでは、更に大きな経済効果を生むだろう。

### 課題は大きく3つ

このような中、本会議所では、

経営環境の変化への対応

新たな商圈に対する受入・発信体制の不足

そして、これらの課題解決を支える本会議所の基盤の弱さを課題と捉えた。

## 基本目標① IT・IoTの実装による生産性向上

### 経営環境の変化への対応

働き手の数自体が減少している今、人手不足の解消には、生産性の向上に注力すべきだ。そして、そのための手段としてはITが最も有効であろう。

また、偶発的な事象の発生時にも、情報の共有や遠隔のコミュニケーションによりITは事業活動の支えになる。

実際にIT導入した企業の多くが、「ITを導入し、ある程度の効果を得られている」と評価しており、全体の約半数を占める。

一方、中小企業の約54%が「IoT・AIどちらも導入意向はない」とする。その最大の理由が「導入後のビジネスモデルが不明確」であって、導入自体に一番の障壁があるといえるだろう。

そこで、この認識のギャップを埋めるためには、具体的なITの活用イメージと導入メリットを浸透させるアプローチが必要となる。そして、導入時にはもちろん、導入後もフォローも同様に重要である。

### 活用支援について

<b>IT・IoT導入事例の集積</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>IT導入研究会の立ち上げ</li> <li>ITの先行導入事例の調査と分析</li> </ul> <p>【IT導入研究会】 広報IT推進化委員会の委員と外部専門家で構成されるITに特化したプロジェクトチーム</p>	<b>IT・IoTの活用情報を発信</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>会報誌やHP、メルマガ機能を用い、会員向けに導入メリットを発信する</li> </ul>
	<b>導入事業所のIT・IoT活用支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ITの効果的な活用のための専門家派遣・講習会などを行う</li> </ul>

### 導入支援について

<b>Business Plus/エキスパートバンクを活用した導入支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所とIT専門家の登録数を増やし、事業所の専門家探しを仲介する</li> <li>専門家を派遣し、相談重視のIT導入支援を行う</li> </ul> <p>【Business Plus】 事業所が「悩み」を、専門家の「支援策」を登録し、両者をつなぐマッチングサイト</p> <p>【エキスパートバンク】 専門家を派遣し、その初期相談に係る費用を本会議所が負担する取組み</p>	<b>金融/専門機関等と連携したIT導入支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>IT導入支援に係る補助・利子補給制度等の創設</li> </ul>
	<b>高松商工会議所IT導入支援体制の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>本会議所のIT化を進め、導入のモデル事例とする</li> <li>本会議所職員のIT支援スキル向上を行う</li> </ul>

## 基本目標② 関西圏等との広域連携による周辺需要の取込み

### 新たな商圈に対する受入・発信体制の不足

今最も注目すべき市場の一つは、インバウンド市場である。

訪日外国人観光客数は6年連続で増加し、それに伴う観光消費金額は6年で4倍になった。

関西圏では「ワールドマスターズゲームズ2021関西」、「2025年大阪・関西万博」の開催が予定されている。

また、高松においては、「2020年に訪れるべき目的地10選」に国内都市で唯一選ばれるなど、香川県は今や世界が注目する観光地である。

そこで、好機の観光を起点に、小売・サービス業を始め、インフラを支える建設業や工業など全業界で、ヒト・モノ・カネを大きく動かすための仕組みづくりが急務である。

そのためには、関西圏と連携を図る中で、密な情報交換を行い、受入基盤を整え、商機を逃さないことが重要である。

#### 域外へ向けて

##### 2020-2025

##### 関西圏の新需要に係る調査研究

- ・ 関西圏へアピールしたい商材・サービスを募集し、媒体化する
- ・ 「2025年大阪・関西万博」での上記商材・サービスの販路候補を調査する

##### 関西市場での販路開拓

- ・ 関西圏の商工会議所と連携し、商品・サービスの商談会を行う
- ・ 関西圏における他団体主体での展示会等への出展
- ・ 商品開発の専門家を活用し関西圏向け新商品の開発支援を行う

#### 域内へ向けて

##### 観光商品の造成

- ・ 着地型かつ体験型の観光コンテンツの質を高め、情報発信する

##### 【DISCOVER SANUKI】

体験型観光を紹介・予約するサイト  
県・市・とタイアップし、掲載コンテンツの拡充と情報発信を行う

##### 観光従事者を育成

- ・ 観光客を迎えるために必要なソフト、ハード等の整備の支援
- ・ 必要な情報等を周知するための講習会等の開催

#### 域外・域内へ向けて

##### 2020-2025関西圏の新需要に向けての情報発信

域内へ：販路候補先についての情報を共有

域外へ：関西圏へアピールしたい商材・サービスを媒体化したものを発信

## 基本目標③ 部会を中心とした高松商工会議所の発信力強化

### 課題解決を支える本会議所の基盤の脆弱さ

本会議所は、これらの課題解決に向けた旗振り役とならねばならない。  
 そのためには、本会議所自身が、高松で一番のITによる生産性向上を実現し、  
 関西圏等の会議所や事業所とのネットワークを最も有する存在となるべきだ。  
 そして、この基盤をもとに、会員事業所に情報を発信し、部会・委員会から業  
 界の声を吸い上げ、街づくりと地域経済の発展を実現させる。

#### 運営基盤の強化

##### 建議・要望の強化

- 意見活動の強化を行う
  - ①四国商工会議所連合会の要望事項として行政に提言
  - ②「コンパクト・プラス・ネットワーク」の街づくりのための提言等

【コンパクト・プラス・ネットワーク】  
 地域の活力維持と生活機能の確保のため、地域公共交通と連携して、商工業者や観光客にとって利便性の高いコンパクトなまちづくりを行うもの

##### 部会・委員会活性化

- 部会・委員会間の連携強化  
 部会間の意見交換会/協議会の開催

#### 会員満足度の向上

##### 経営基盤の強化支援

- 各種機関と連携したBCP/SDGs策定支援

【BCP】  
 緊急事態が発生したときに、事業の継続や復旧を図るための計画。  
 高松市と「事業継続力強化支援計画」を共同策定し、5年間で総合的な支援を行う

【SDGs】  
 持続可能でよりよい世界を目指す国際目標  
 保険会社との包括連携協定を活用し、SDGsの策定とそれに基づく事業展開の支援を行う

##### 顧客満足度向上のためのサービス拡充

- 会員サービスの拡充  
 会員企業従業員の功労表彰の拡充、  
 定期健康診断開催等の情報発信等

##### 情報発信の強化

- 事業/支援内容の発信  
 会報誌の活用方法の見直し、  
 施策普及パンフレット「あらかると」の拡充、  
 HP掲載内容の精査